

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度 第2回諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 地域活動支援事業について（公開）

① ヒアリング

② 採点

③ 審査・採択

## 3 開催日時

令和元年5月29日（水） 午後6時30分から午後9時50分まで

## 4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）

滝澤隆行、武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子

山岸 愛、山岸一之 （欠席なし）

・ 事務局：自治・地域振興課 廣川副課長

中部まちづくりセンター 藤井係長、田中主事

## 8 発言の内容 （要旨）

### 【藤井係長】

・ 会議の開会を宣言

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

**【星野会長】**

- ・会議録の確認：川上久雄副会長に依頼

次第2 議題「(1) 地域活動支援事業について」に入る。

本日は提案された9件の事業について、委員の認識をより深めると共に疑問点等を解消するため、提案者による事業概要の説明と委員による質疑応答を行う。

今年度は予算額480万円に対し、補助希望額が545万9千円と65万9千円超過している。全団体に地域の課題解決や活力向上に取り組んでもらうには補助額の調整が必要になるため、補助額調整の参考にすべく正副会長・事務局協議の上、全提案団体に「経費の節減」「自主財源の増額」「緊急度の低い事業内容の繰越」の可否について検討願い、ヒアリング時の回答を求めている。

各団体のヒアリング前に会長である自分が確認してよいか。

(よしの声)

それでは「諏-1」より開始する。

**【諏-1 提案者】**

- ・「諏-1 諏訪唱歌ナツメロ教室事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

**【諏-1 提案者】**

自主財源の増額については可能である。

“講師謝礼”については前年度に比べ増額している。これは講師が別の講座では1回6千円で行っていると聞き、自分たちは1回5千円で依頼していたため増額を検討した結果増加した。割合として支援事業による補助を4分の3、自負負担4分の1としている。参加費用についても2千円としているが、自己負担とすることも可能である。次に“会場使用料”についても自己負担可能と考えている。

まとめると講師料2万1千円減、会場使用料9千240円減、合計で約3万円の自主財源の増額は可能と考えている。

**【星野会長】**

諏-1について質疑を求める。

**【石黒委員】**

提案書にある“他団体との交流活動”の内容について教えて欲しい。

**【諏-1 提案者】**

地域によっては公民館事業の流れで、同様のサークルがあると聞いた。現時点では板倉区、頸城区の団体との交流会をしたいと考えている。内容としては、お互いの活動内容の発表を考えている。一昨年度は頸城区、三和区の団体と交流会を行った。交流会でお互いを刺激し合い、向上を図りたい。

**【星野会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

**【星野会長】**

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

**【星野会長】**

次に「諏-2」を開始する。

**【諏-2 提案者】**

・「諏-2 くびき野諏訪スポーツクラブ活動事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

**【諏-2 提案者】**

予算の削減については各競技のコーチと検討した。

支援事業の配分額は限られた金額であるとの認識はあるため、欲を言えばもっと欲しいものはあるが、厳選し特に必要な用具等を提案した。そのため削減できるところは正直ない。しかし、提案にある野球用のノックバットについて、2本提案しているうちの1本を減らすことは可能と考える。

**【星野会長】**

諏-2 について質疑を求める。

**【山岸 一之委員】**

支出にある“ユニフォーム”は野球用、セパタクロー用のどちらか。

**【諏-2 提案者】**

セパタクロ用である。現在ユニフォームを所持しておらず、大会参加時に統一したユニフォームで参加とのルールがあるため提案した。

**【星野会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

**【星野会長】**

「諏-3」を開始する。

**【諏-3 提案者】**

・「諏-3 諏訪の里づくり活動事業」の概要説明

(共通質問の回答) 削減等検討出来る項目は“6. 活動に必要な備品の整備”と考えている。コピー機については以前採択されリースした物があるが、リース期間が間もなく終了する。コピー機は他の事業でも使用すると考えるため、削減することは難しい。次に物置についてである。諏訪地区公民館は耐震基準に引っかかっており、改修工事等を行わなければならないが、現時点では話が進んでいない。現在、当団体は地区公民館を間借りして活動しており、備品の保管スペースが不足してきているが、次年度への繰越しも可能と考えている。次にデジタルカメラについては、現在行事のたびに個人の所有物を使用し対応している。しかし日常的に使用する物でもないため、次年度に繰り越してもよいと考えている。

なお、額に際し当事業を減額するのであれば、他の事業についても平等の対応をお願いしたい。

**【星野会長】**

諏-3 について質疑を求める。

**【川上副会長】**

ニュースポーツについてあまり知識がないため確認したい。“諏訪祭りにて開催”とあるが、並行して実施できるような競技なのか教えて欲しい。

**【諏-3 提案者】**

用具があれば気軽に楽しめる競技であり、健康増進に繋がる。これまでは借用し競技していた。地区公民館に置いておけば、老人会や子どもたちが気軽に使用できると考えている。

**【山岸 愛委員】**

デジタルカメラについては、他の数団体からも申請が出ている。同じタイミングで使用することはほとんどないと思うため、いずれかの団体が削減し共有して使用できればよいと考えている。次年度以降は各団体が所有するかたちを取ってもよいと思う。

**【諏-3 提案者】**

それについては地域協議会に一任する。どの団体が所有し、どのような使い方をするかについて協議会にて決定すればよいと考えている。当団体は提案書記載の通り年間を通してかなりの数の行事がある。そのため、かなりの回数カメラを使用するので、考慮してほしいと考えてはいる。

**【松縄委員】**

ニュースポーツ体験に使用するスマイルボウリングとスカットボールが各2セットとなっているが、各1セットではだめなのか。

**【諏-3 提案者】**

各1セットでも問題はないが、大勢で行った際は対応が難しい。

**【松縄委員】**

交互に行うことも出来ると思う。

**【星野会長】**

セット数を変更する余地があるか否かについて、教えて欲しい。

**【諏-3 提案者】**

出来る事であれば、希望のセット数を支援してほしい。

**【星野会長】**

ファミリー綱引き大会についてである。これまでは小学校の綱を借用し実施していたが、今回は団体として購入したいということか。

**【諏-3 提案者】**

現在大会で使用している物は、少し細いタイプである。また小学校で使用してい

る物は、外でも使用しているため泥等の汚れもあり練習時にかなり汚れてしまう。  
この機会に大会で使用しているタイプと同様の物を購入し練習したいと考えている。

**【星野会長】**

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

**【星野会長】**

「諏-4」を開始する。

**【諏-4 提案者】**

・「諏-4 すわっ子わくわく事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

**【諏-4 提案者】**

減額については“二貫寺の森の活動”の書籍を充実させたいと考えていたが、これは次年度に繰り越すことも可能と考えている。

**【星野会長】**

諏-4 について質疑を求める。

**【川上 奈津子委員】**

夏休み学習会の項目に“すわっ子スタッフTシャツ 23 枚分”とあるが、提案書の構成員数を見ると 10 人となっている。残りの 13 枚はどの様に使用するのか。

**【諏-4 提案者】**

保護者の人数を含めた数になっている。

**【滝澤委員】**

スタッフTシャツとすわっ子Tシャツについて聞きたい。現在地区で使用している物が 5 色ほどあるが、これとは別に新規で作るのか。

**【諏-4 提案者】**

すわっ子専用の物を作る予定である。

**【滝澤委員】**

現在、諏訪で使用しているTシャツを活用できないのか。

**【諏-4 提案者】**

出来る事であれば支援してほしいと考えている。

【星野会長】

提案書記載の物はすべて必要であると思うが、最終的にどうしてもとなった場合は削減可能と解釈してよいか。

【諏-4 提案者】

よい。

【星野会長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

「諏-5」を開始する。

【諏-5 提案者】

・「諏-5 芳澤謙吉翁顕彰事業」の概要説明

【星野会長】

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

【諏-5 提案者】

年間を通しての行事であるため、出来ることであればすべて実施したいと考えている。削減についてはどれも難しいが、地域協議会にて協議・決定した内容は受け入れるつもりである。毎年補助を受け、事業を実施しているため協力はしたいと考えている。しかし、あれもこれもと言われてしまうと事業が成り立たなくなってしまうため、配慮してほしい。

【星野会長】

諏-5 について質疑を求める。

【松縄委員】

茶会の金額が5千円となっているが、これはお茶代やお菓子代すべて含まれているのか。

【諏-5 提案者】

これはお茶の先生方への謝礼代である。

【松縄委員】

ではお茶代やお菓子代はどこから出ているのか。

**【諏-5 提案者】**

以前、個人の飲食は支援事業費にそぐわないとのとの指摘を受けたため、自己資金から捻出するのか、参加費を徴収するのか検討中である。そのため、お茶代やお菓子代は金額には含まれていない。

**【川上副会長】**

芳澤謙吉翁記念館前の公園は市の所有だと思うが、市の予算で整備することは出来ないのか。また、これについて市に申請したことはあるか。

**【諏-5 提案者】**

以前、木の枝切り等は観光振興課に依頼したことがある。あとの項目については緊急性がないと予算の関係もあって対応してもらえないため、申請したことはない。この公園は農村公園のような扱いとなっているため、きれいに整備するといった考えはないようである。

**【星野会長】**

今後、地域活動支援事業の制度がなくなった場合、自己負担で維持管理することは難しいと思うため、市に要望することも視野に入れてはどうかと考える。

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。委員は随時採点票を記入願う。

— 提案者退席 委員採点 —

「諏-6」を開始する。

**【諏-6 提案者】**

・「諏-6 移住促進諏訪の会活動事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。また“諏訪の里づくり協議会”でも同様のカメラ購入の申請が出ているため、削減について検討の余地があるか否かも含めて回答願う。

**【諏-6 提案者】**

“諏訪の里づくり協議会”で検討しているのであれば、当事業でも合わせて検討

したい。しかし“合同で使用する”との条件がしっかりしていなければ難しいが、2事業で1つずつ購入する必要はないと考える。

**【星野会長】**

諏-6 について質疑を求める。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。委員は採点票を記入願う。

— 提案者退席 委員採点 —

**【星野会長】**

「諏-7」を開始する。

**【諏-7 提案者】**

・「諏-7 未楽来すわ活動事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

**【諏-7 提案者】**

事前に配分額を超過する可能性があるとの情報を聞いていたため、提案前に出来る限り調整した。

はさ木の見学は、当初はバスを借りて行くことを考えていた。少しでも提案額を削る手段を検討し、同じような場所にすわっ子クラブが視察に行くと聞いたので、相乗りを申し出て了承を得た。ひまわり活動についても備品の購入を極力控え必要最低限にとどめた。

そのためこれ以上削減することは難しい。

**【星野会長】**

諏-7 について質疑を求める。

**【川上副会長】**

彫金活動は8回を予定しているが、8回必要なのか。またどのような内容を考えているのか教えて欲しい。

**【諏-7 提案者】**

講師に確認したところ、サイズはハガキ大が初心者サイズとのことであり、費用も5千円程度と聞いている。他の講座の際はもう少し費用を徴収しているが、勉強

してくれるとの話であった。次に回数については、1つの作品を作成するのに8回程度の時間を要するとの話であったため8回とした。

**【川上副会長】**

1回あたりの時間はどの程度を予定しているか。

**【諏-7 提案者】**

1時間半から2時間程度を予定している。回数を減らすため1回あたりの時間を長くすることも可能だが、集中力が持たないと考える。そのため回数は減らせても1回から2回程度だと思う。

**【山岸 一之委員】**

視察交通費について、予算が低いため心配していたが、すわっ子との合同視察と聞いて安心した。また青苧の知識を更に深めることはよいと思っている。

**【諏-7 提案者】**

青苧は飯田川沿いの米町に向かう途中に多く自生している。飯田川の堤防を舗装した所からも芽が出てきている。昔は草刈りをしてはまたすぐに芽が出てきてしまうため、厄介に感じていた。上杉謙信公の経済を支えたものとは知らなかった。綿が普及する前に使用していた繊維と聞いている。より関心を持ってほしいと考えている。

**【星野会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

**【星野会長】**

「諏-8」を開始する。

**【諏-8 提案者】**

・「諏-8 くびき野諏訪ホームページ運営委員会事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

**【諏-8 提案者】**

地域活動支援事業費が市の税金で賄われていることは理解しているため、これまでの申請も含めて無駄なものは一切ない。

ドローンについては、何かあった際の賠償保険であるため外すことは出来ない。次にパソコンについては、来年の1月でサポートが切れ、ホームページの存続が出来なくなってしまう。そのため削減できる部分が全くない。

そもそも市民の税金で運営を賄っているため、徹底的なコスト削減でスタートしている団体である。理解してほしい。

**【星野会長】**

諏-8について質疑を求める。

**【川上副会長】**

ドローンの年間の稼働率や用途等を教えて欲しい。

**【諏-8 提案者】**

ご存知の通り、自分たちはボランティアが基本の団体である。ドローンの稼働率を上げたいと考えてはいるが、操作できるスタッフが限られる。昨年度は新たに“季節の動画”というドローン専用のページを作成し、ここにアップしている。今後の構想としては、住民の要望もあり、飯田川の流れをアップしたい。夜間は申請しなければドローンを上げることは出来ず、ボランティアのスタッフにそこまでお願いすることは出来ない。自由意志の中で、少しでも諏訪地区が目立つようにと考え活動している。

**【星野会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

引き続き「諏-9」を開始する。

**【諏-9 提案者】**

- ・「諏-9 諏訪区防災士会事業」の概要説明

**【星野会長】**

最初に別途依頼した共通質問の回答を求める。

**【諏-9 提案者】**

“諷-8”と同様に無駄なものは一切ない。またホームページ作成とは違い、命に関わるものである。保存版チラシについては、AEDが追加導入される度にシールを貼って情報を更新してきた。台数も増えてきたため、この機会にデザインも新しくしたいと考えている。以前にスタッフや関係者で300枚をラミネートしたことがあったが、非常に苦労したため、チラシも削ることは出来ないと思っている。

**【星野会長】**

諷-9について質疑を求める。

**【川上副会長】**

現在AEDが設置されている場所の地域性や距離を考えると、諷訪と東原は近い  
ため鶴町辺りに設置してもよいと思う。なぜ東原町内会に設置を考えたのか。

**【諷-9 提案者】**

諷訪地区の全ての町内会長が了解してくれる訳ではない。いらないと考えている町内に自分たちの考えを理解してもらうための時間を費やす必要はないと考えている。同じ町内会長の立場であってもそれぞれ考えは違う。長が変われば状況は変わると思うが、現状では理解し手を挙げた町内への設置を考えている。

**【川上副会長】**

今年度は配分額を超過しているため、各団体より協力いただきたいと考えている。  
設置する町内会に多少負担してもらうことは出来ないか。

**【諷-9 提案書】**

今回は配分額を超過しているため、話す余地はあると思っている。

**【星野会長】**

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上ヒアリングを終了する。委員は随時採点票を記入願う。

— 提案者退席 委員採点 —

以上で提案者への全ヒアリングが終了した。これより最終の採点を行い、終わった採点票から順次回収していく。結果がまとまり次第、会議を再開する。

— 事務局集計 —

— 委員休憩 —

**【星野会長】**

会議を再開する。次第 2 議題「(1) 地域活動支援事業について」の「③審査・採択」に入る。

今年度は補助希望額の合計が予算配分額を上回っており、補助希望額の減額が必要である。まずはどの事業を採択するかを協議し、そのあとに補助額についての協議を行う。

まずは基本審査判定について。基本審査判定は地域活動支援事業の目的への適合性を問う判定項目である。本日の審査では目的に不適合と判定した委員はいなかったため不採択となる事業はない。

次に採択方針への適合判定について。審査する委員の 4 分の 3 以上が不適合と判定した事業は「評価の低い事業」となり共通審査基準の平均点に関わらず会に位置付けられる。しかしこれも不適合と判定した委員はいなかったため該当する事業はなかった。

次に共通審査基準による採点結果について。1 つでも平均点が 2 点未満の項目があった場合は「評価の低い事業」となるが、これも該当する事業はなかった。

以上のことから全事業を採択することとしてよいか。ただし補助額の不足が解消されないうちは仮決定に留まることを承知してほしい。

では、意見のある委員はその理由も含めて意見願う。

(発言なし)

全事業を採択としてよいか。

(よしの声)

全事業を採択することに仮決定する。

次に補助額についてである。

配分額を 65 万 9 千円超過しているため、採点結果を基に減額採択をする事業を協議していく。本日のヒアリングに際して、補助額調整の参考とするため全提案団体に「経費の節減」「自主財源の増額」「緊急度の低い事業内容の繰越」の可否について確認した。結果について事務局に説明を求める。

**【藤井係長】**

(プロジェクターで事業ごとの減額する費用を投影)

1位の“諏-3”は物置と設置費とカメラ、2位の“諏-9”は説明書チラシ保存版、5位の“諏-4”は書籍、6位の“諏-6”もカメラ、7位の“諏-2”はノックバット1本、8位の“諏-7”は彫金講師代2回分、9位の“諏-1”は講師謝礼と会場費を仮に差し引いた金額を表示している。

超過額 65万9千円に対して、仮に減額した額は合計 79万3千円となっている。

**【星野会長】**

記載されている順位は得点順になるのか。

**【藤井係長】**

そのとおり。

**【星野会長】**

減額についてであるが、現在“諏-3”でカメラを減額している。“諏-6”でもカメラの購入申請がある。“諏-6”は次年度への繰越でも事業は実施可能との話であった。現在両事業で“減額可能な費用”としているが、どちらか一方でよいと考えている。

**【滝澤委員】**

“諏-6”のみ減額でよいと思う。

**【星野会長】**

ではカメラは“諏-6”で減額とする。

**【藤井係長】**

1位の“諏-3”のカメラは減額対象から除外するため、仮に減額した額の合計は 69万3千円となる。

**【西嶋委員】**

“諏-9”のチラシはどうするのか。

**【川上 奈津子委員】**

“諏-9”のチラシについては、提案者は“減額可能”とはしていなかった。

**【山岸 愛委員】**

確かに言っていない。自分たちが削れると考えただけであり、提案者は減額したいと思ってはいない。

**【川上副会長】**

減額としなくてよいと思う。

【星野会長】

現在の仮減額の合計額は69万3千円である。配分額の超過額は65万9千円であるため、3万4千円は増額可能である。

【山岸 愛委員】

3万4千円を“諏-9”のチラシに配分してはどうか。

【山岸 一之委員】

“諏-5”は減額されているのか。

【山岸 愛委員】

現在、減額はない。提案にある全ての内容を今年度実施しなくてもよいと思う。

【滝澤委員】

“園内老大木の枝打ち”は安全面を考えると、今年度中に実施したほうがよいと思う。

“減額可能な費用”について、これまでに出了内容をまとめる。

“諏-1”講師謝礼と会場費で3万240円、“諏-2”ノックバット1本で1万7,820円、“諏-3”物置代と設置費で44万9,828円、“諏-4”書籍代と大人用Tシャツ代で5万9,017円、“諏-6”カメラ代9万8,979円、以上で減額の合計65万5,884円となり、残り3,116円減額すれば配分額内に収まる。

【星野会長】

超過額65万9千円に達するよう、改めて協議していく。

【田中主事】

全体の事業費からの減額となり、補助金は最終的には千円単位になる。そのため、端数は考えないこととして、これまで減額としたものも含めて千円単位で改めて検討してほしい。現時点での減額とした費用を千円以下切り捨てとして計算すると、2千円が超過している状態である。

【山岸 愛委員】

“諏-9”から2千円削ってはどうか。

【星野会長】

改めて減額とした内容を確認したい。

**【藤井係長】**

“減額可能な費用”について、採点の順に内容をまとめる。端数を切り捨てた削減額と仮採択額を発表する。

1位の“諏-3”は物置と設置費45万減額で257万円、2位の“諏-9”は調整額として2千円減額で54万5千円、3位の“諏-8”は減額なしで12万7千円、4位の“諏-5”も減額なしで35万2千円、5位の“諏-4”書籍代と大人用Tシャツ代5万9千円減額で53万9千円、6位の“諏-6”カメラ代9万9千円減額で11万4千円、7位の“諏-2”ノックバット1本1万8千円減額で31万3千円、8位の“諏-7”は減額なしで7万8千円、9位の“諏-1”講師謝礼と会場費3万1千円減額で16万2千円となっている。

**【星野会長】**

公民館使用料がかかっている団体と、料金がかかっていない団体は何が違うのか。

**【西嶋委員】**

減免の申請書を提出している団体は使用料がかからない。

**【星野会長】**

減免の対象はどのような団体なのか。

**【西嶋委員】**

地区支援団体である。“諏訪の里づくり協議会”のように、地域全体に関わる団体である。趣味の会のような団体は対象外となる。

**【星野会長】**

現時点で配分額に対して満額で調整できた。指摘等、意見はあるか。

**【山岸 愛委員】**

減額については、申請者にどのように伝えるのか。

**【星野会長】**

事務局にて申請者に連絡する。

**【田中主事】**

今後の流れとしては、本日決定した内容を取り急ぎ明日、申請者に電話で伝える。その後、改めて採択決定通知を1週間から2週間程度の間提案団体宛に送付する。採択決定通知には採択額、減額された金額と理由を添えて記載される。

**【星野会長】**

今年度は提案団体の協力もあり、配分額になんとか収めることが出来た。最終的に確認や意見はあるか。

(発言なし)

**【星野会長】**

採点結果一覧表も提案団体に送付するのか。

**【田中主事】**

例年、採点結果一覧も提案団体に送付している。

**【山岸 愛委員】**

他の団体の削減額が分かってしまうが、不満を言ってくる団体はいないか心配である。

**【星野会長】**

各団体に確認し減額項目を提案してもらった。しかし不満や疑問に思う団体もあると思う。地域協議会としては“前向きに協力してもらった”と感謝の気持ちを込めて減額を決定したと考えたい。

以上で全ての事業についての補助額が決定した。次に採択した事業について、事業実施に関する附帯意見はあるか確認していく。

**【田中主事】**

附帯意見は“採択の条件”である。事業を実施する際の条件を設定するかということである。

**【星野会長】**

では採点順に確認していく。

1位の“諏-3”に関する附帯意見はあるか。

**【滝澤委員】**

カメラを他団体と上手く共有してほしい、はどうか。

**【田中主事】**

それを採択の条件とするならば、“利用申請が来た際は貸し出せるよう配慮願う”となる。

**【星野会長】**

貸し出せない場合は採択できないということか。

**【田中主事】**

そのとおり。

**【川上副会長】**

6位の“諏-6”のカメラは減額としたため、それを踏まえ配慮したほうがよいと思う。

**【西嶋委員】**

共有できるように配慮してほしいということ。

**【星野会長】**

では1位の“諏-3”については、カメラに関する附帯意見を付けることとする。

次に2位の“諏-9”と同代表者の3位の“諏-8”について意見を求める。

**【滝澤委員】**

“諏-8”はドローンを使用する際、ホームページ等で告知や案内はしているのか。

**【山岸 愛委員】**

例えば、ページング放送等で“本日ドローンを飛ばします”といった案内があってもよいと思う。

**【星野会長】**

それは採択の条件ではなく、希望になると思う。そのため提案者に個別でお願いすることとする。

次に3位の“諏-8”以降の全ての事業について意見を求める。

(なしの声)

では1位の“諏-3”にのみ附帯意見を付けることとする。附帯意見の文言については正副会長と事務局にて検討し決定することとしてよいか。

(よしの声)

以上で地域活動支援事業に係る審査・採択が全て終了した。提案者には事務局より早々に結果を通知する。以上で次第2 議題「③審査・採択」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局に説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・次回の協議会について説明

**【星野会長】**

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：6月18日（火）午後7時 諏訪地区公民館 集会室
- ・内容：①「採択事業の決定と補助額の決定」について（報告）  
②自主的審議事項について

**【星野会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。